

あなたの歯は健康？

# 歯周病から歯を守りましょう！

歯周病で歯が抜けてしまうことがあるのを知っていますか？  
40歳を過ぎたあたりから、歯周病で歯を失う比率が急激に高くなります。  
よくかんで食べることは、健康の維持・増進には欠かせません。  
一度、自分の歯をチェックしてみましょう！



## 歯周病のイエローカード!!

Q. 口臭や歯茎からの出血が時々あります、これって歯周病？

A. 歯周病が疑われます。これらの症状は歯周病になると頻繁に見られます。

Q. 歯周病には、他にどんな症状があるの？

A. 歯茎の腫れ、歯の動揺、強いかむと違和感がある、歯並びが悪くなった感じがするなどがあります。

## 忍び寄る歯周病…

Q. 特に症状がなければ、歯周病は心配ない？

A. 歯周病の初期は気が付かないことが多いので、早期発見、早期治療が必要です。

Q. 歯周病は、なぜ歯を失う原因になるの？

A. 歯周病が進行すると、歯を支える歯槽骨が溶けて歯が動くようになり、ついには歯が浮いて抜けてしまいます。

## 歯周病から歯を守ろう！

Q. 歯周病は予防できる？

A. できます。歯周病は歯周病菌によって作られた歯こうが原因です。適切な歯磨きの習慣を身に付け、歯こうが残らないようにしましょう。

Q. 初期の歯周病は、よく歯磨きをすれば良い？

A. 歯周病の原因となる歯こうは付着したままだと硬くなり、歯磨きでの除去ができなくなります。早期治療することが望ましいです。

## 全身も侵す歯周病…!

Q. 歯周病が全身に及ぼす影響は？

A. 歯周病の原因は細菌です。この細菌が出した毒素やうみが、血液を介して全身に運ばれ悪影響を及ぼします。

Q. 具体的にどのような悪影響があるの？

A. 例えば、心疾患になる確率が3.6倍になったり、病巣感染と言って、まったく別の場所に炎症が起きたりします。

## 予防のために検診を

歯周病を早期発見するために、市は歯周病検診を実施します。  
個人負担金は500円です。対象年齢は、平成16年4月1日現在で、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳です。  
詳細は健康増進課まで問い合わせてください。

● 問合先  
健康増進課

## 「あなたの歯は今、何本？」

40歳を境に急に歯を失う傾向にあります。

1人平均の現在歯数は20歳では29本、40歳で27本と減って、60歳で20本、70歳で12本と急に少なくなります。従って40歳からの歯の喪失の予防が大変重要になるのです。



成人の歯の数



30歳代



40歳代



50歳代



70歳代

これからも大丈夫？

